

油谷町生活改善センター

究して油谷町の特産ができればいいなと思っております。

鈴木所長 一例として向津具半島や宇津賀地区に自生しているつわぶきだとか……。まだ殆んど活用されていないと思われれますが栽培に手を加えて量産し、加工するといったことを考えていけば働く場の確保もできてくるのではないかと思います。また海に恵まれていますし、油谷島の俵島など奇岩といますか全国的に有名なところ海岸の景色がすばらしいですね。

これと観光名所などと大坊ダムあたりを結んで観光ルートのようなものを考えてそれと農産物をうまく結び合わせてですね……。」「**松永町長** 土産品とか特産物という事ですか。

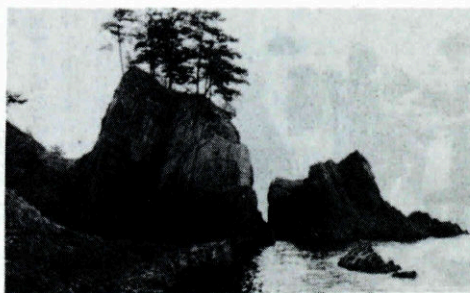
鈴木所長 はい。そういうことも考えていく必要があると思います。ただ何がいかといわれると困りますが、古老の人達がたくさんおられるわけですが、そういう人達の話をも十分聞いて昔から油谷町の

ここではこういうものがあつたよ。ここではこういう作目が良く育っていたよ。……というように話を聞きながらそれを参考にしていくことが一番まちがいのない方法だと思えます。また、油谷町内では現実がいちごやすいか、さらにはれいしょなど新しい産地化の息吹きがありますので、これを大事に育てていくことを忘れてはならないと思えます。

松永町長 今、お話に出たいちごなどの産地化については、農協や普及所などとの協力の中で是非とも育てあげたいと考えているところ

です。先程お話のでもしたつわぶきというのほわさびのように栽培の増産体制に入ることができ

るのですが、先程お話のでもしたつわぶきというのほわさびのように栽培の増産体制に入ることができ



俵島

鈴木所長 それは簡単にできると思いますよ。

松永町長 現在の三倍から五倍にでもということですか。

鈴木所長 それはできると思えます。自生で非常に良い生育をしておりますから。

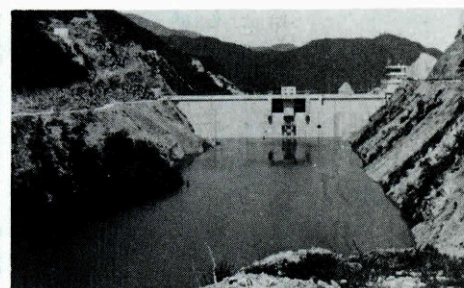
松永町長 そのようなつわぶきの栽培の例が全国であるでしょうかね。

鈴木所長 畑に栽培するということではなくても今あるものにちょっと手を加えればもっと……。」「**松永町長** 株がはるといいうことで

すね。
鈴木所長 そうです。

松永町長 古老のご意見も大事ですが、案外地域内の人達はマンネリー化していますから外部から見

与えてもらおうと助かるのですがね。



大坊ダム

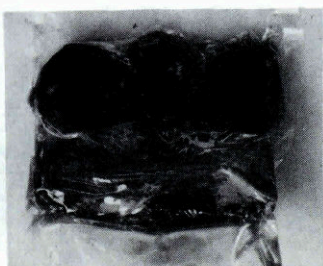
松岡普及員 油谷町の担当になつた春に町内を見て回つたのですが、その時いちばんびっくりしたのは宇津賀や向津具がとにかく暖かいのです。農家の庭などにフリージヤの花がたわわに咲いており、長門市などでは一五センチ位にし



津黄龍宮の潮吹

かならないのが四五センチにもなつているのです。このようにそ

の気候などの条件に合つたものを栽培しなければならぬと思えます。それと、農業従事者の高齢化が進んでいるということです。高齢になつていくということは力仕事は無理でも手先の仕事とか根気がいる仕事は向いていると思うので、球根植物はどうかと思つて農協や高齢者のグループに提案してみたいことがあります。



努力賞受賞の赤屋の印ろう漬

松岡普及員 町長さん昨年の県農業まつりでは、宇津賀の赤屋グループがうりの中にシソを詰めて製品名を印ろう漬といつて、コンクールに出品しましたら味も良いということで努力賞を受賞されました。赤屋グループの方は受賞をきっかけに加工についての関心が高まっていますか、そういったものを開発したいですね。

いわけです。そこで今のところは大豆ということで味噌を作つておりますが、いろんな人が利用し研



味噌・豆腐加工